

事務事業名	市民参加型イベント開催支援事業	事務事業No.	40303000959	所属課	商工観光課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
<ul style="list-style-type: none"> ・合併前から実施していた「町民祭」や「商工祭」が、合併を機に「桜川市民祭」と名称を変更して開催した。平成28年度からは4月のヤマザクラ時期に開催し、「SAKURAフェスティバル」に生まれ変わった。 ・5年前と比べると市外の来場者も増えているようである。 					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場が遠い ・地域の人が参加できる催し物が少ない ・仮設トイレ、ごみ箱、テーブル、キッズスペース等の不足 					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 地場産業のPRや、市民の交流を図る大きな機会となっているため、政策体系と結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地場産業のPRの場として、また市民参加型のイベントを開催することで、市民の融和を図るとともに、郷土文化に対する愛着と誇りを高めることを目的としているため、市の関与は妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 実行委員会メンバーやイベント参加者の固定化により、行う企画が毎年変わらないものとなっており、市民のより多様な意見を取り入れる必要があるため、向上余地がある。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民同士の融和が図られなくなると共に、観光イベント及び商工業PRの場が減ってしまうことから、成果への影響がある。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる イベントのPRを強化を図るため、桜川市観光協会との連携を検討する。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 現在は、実行委員会事務局を行政が務めている。実行委員会をより市民主体のものとし、市民が企画運営する体制を構築することで、事業費の削減と市民参加の推進を同時に図ることができる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 全市民を対象にしたイベントであるため、受益者負担を求めることは公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	「SAKURAフェスティバル」は多くの市民が参加するイベントとして定着してきた。その一方で、平成30年度には真壁地区においても「まかべの秋祭り」が開催され、こちらも市民手作りのイベントとしてにぎわいの創出につながった。新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、令和4年度の開催は中止した。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
実行委員会メンバーやイベント参加者の固定化により、行う企画が毎年変わらないものとなっている。したがって、市民の多様な意見を取り入れるため、新たなメンバーや企画を取り入れていく必要がある。また、現在は、実行委員会事務局を行政が務めているが、実行委員会をより市民主体のものとし、市民が企画運営する体制を構築することで、事業費の削減と市民参加の推進を同時に図っていく。		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認